

にしおの

難病を乗り越えて
陸上選手・糟谷悟

おっ!



東京マラソンで力走する糟谷さん

冬の風物詩、箱根駅伝。数多くのランナーが箱根駅伝をステップに、全国の舞台で活躍しています。難病を乗り越え、現在も走り続ける西尾市出身の糟谷悟さんも、その一人です。

糟谷さんが陸上と出会ったのは中学1年生の時。バスケットボール部に入部しましたが、体育祭の長距離走で1年生ながら全校2位でゴール。それを見た陸上部の先生から、駅伝の助っ人を頼まれたことがきっかけです。走ることが特技に変わり、気が付けば部活も陸上部に。1学年下で文武両道の後輩が良きライバルとなり、「勉強ではかなわないけれど、陸上では絶対に負けない」と努力を重ねました。

高校生になり、憧れの先輩が大学で活躍している姿を見て、大学駅伝、特に箱根駅伝を意識するようになります。その先輩の影響もあり、駅伝の強豪駒澤大学へ進学。1年生から4年連続で箱根駅伝に出場し、見事3度の総合優勝、2度の区間賞に輝きます。「箱根駅伝

は大きな祭りのよう。ゴール前は観客の声援で鳥肌が立ち、地面が揺れて感じた」と糟谷さん。

大学卒業後、実業団駅伝やマラソンでキャリアを積む傍ら、吉良町（合併後は西尾市）の代表として愛知県市町村対抗駅伝競走大会に6度出場。「生まれ育ったまちへの思いが強く、走ることで恩返ししたかった」チームの好成績に貢献するとともに、タスキをつないだ子どもたちに走ることの楽しさを伝えました。

平成25年、29歳の時に体の異変を感じます。「走っている感覚がおかしくなった。熱はないのに風邪を引いているようだった」すぐに医師に相談するものの、異常なし。しかし、異変を確信していたため精密検査を依頼すると、悪性リンパ腫であると判明。ショックを受けながら、やはり自分の感覚は間違っていないかという思いも。病気を覚悟していた分、気持ちも早く切り替えられたそうです。

8時間に及ぶ手術と、約10か月の闘病生活を経て、医師から難し



profile

糟谷悟

トヨタ紡織株式会社陸上部所属。昭和58年7月生まれの34歳。身長179cm、体重58kg。中学校時代のニックネームは「さとびー」。西尾市といえば、好物の抹茶。お気に入りの芸能人の名言「1クールのレギュラーより、1回の伝説」が好きな言葉

いと言われていた競技への復帰を果たします。闘病中は抗がん剤治療の副作用で苦しみますが、復帰への強い思いで乗り越えました。「日の丸を付けて走ることを目標に頑張っていたのに、何もできずにじっとしていることが一番つらかった。でも、乗り越えた分、さらに精神的に強くなれた」と当時を振り返り語ってくれました。

現在も日々厳しいトレーニングを積む糟谷さん。「目標は日本代表として走ること。病前と変わらない。今は2月の東京マラソンに向け調整中」と力強く話してくれました。また、「一緒に頑張れるライバル、目標とする先輩を見つけてほしい。どうすれば速く走れるかを自分で考え、失敗を失敗と思わずどんどん挑戦してほしい」と陸上選手を目指す子どもたちに熱いメッセージをいただきました。糟谷さんの次なる挑戦にエールを送るとともに、糟谷さんに続くランナーの誕生を期待して、佳境を迎える駅伝シーズンを楽しみましたと思います。（石川泰弘）



楽しく・格好良く演奏

キーボードサークル
「クッキィ」

キーボードサークル「クッキィ」は、平成25年1月に鍵盤楽器を楽しむ仲間が集まって作ったサークルです。会員は40〜70歳代の男性3人、女性5人の計8人。毎月第4金曜日の午後1時30分〜3時に、西野町ふれあいセンターで和気あいあいと活動しています。

会員のほとんどが未経験者でしたが、3か月ほどの練習でリズムや伴奏を付けて格好良く弾けるようになりました。現在、2月に行われる西野町ふれあいセンターフェスティバルでの発表会に向けて練習しています。歌謡曲を中心に6曲演奏する予定です。初めての発表会ではみんな同じメロディーを弾いていましたが、今ではパートに分かれて合奏を楽しんでいます。

キーボードは鍵盤が軽い上に、左手は指1本で伴奏ができるため、誰でも簡単に弾けます。1曲弾けるようになったときのうれしさは格別です。いつでも気軽に参加できますので、興味のある方はぜひ一度見に来てください。お待ちしております。

☎神原(☎57・4467/上町)

このコーナーに登場してくれるサークル・ボランティア団体を募集しています。詳しくは、秘書課広報担当(☎65・2159)へ。



ももか
西脇 百奏ちゃん
(大和田町)

平成27年6月生まれ
歌が大好きなもも☆いつも幸せをいっぱいありがとう！大好き♡



りく
立花 稜久くん
(戸ヶ崎二丁目)

平成28年4月生まれ
いつも笑顔でかわいいりっくん♡これからも優しく元気に育てね。



さな
堀野 紗愛ちゃん
(東幡豆町)

平成28年5月生まれ
いつも笑顔いっぱい紗愛ちゃん♪ 元気に大きくなあれ♡



そうた
加藤 想太くん
(刈宿町)

平成28年6月生まれ
元気で活発な想太くん♡人を想いやる心優しい子に育ててね♡



みれい
山中 美伶衣ちゃん
(一色町)

平成28年3月生まれ
食べる・歌う・踊ることが大好き♡笑顔いっぱい大きくなーれ♪



ゆうや
高須 祐弥くん
(山下町)

平成27年12月生まれ
プリアリと走る姿がかわいい祐弥♡みんなゆうくんが大好きだよ♡



ひまり
鳥居 ひまりちゃん
(今川町)

平成27年3月生まれ
踊るのが大好き、弟思いのひまりさん。パパとママのたからです。



れお
谷脇 礼朗くん
(吉良町)

平成28年4月生まれ
陽気で楽しい暴れん坊礼朗くん。わが家に幸せをありがとう！

キ
ツ
ズ
ア
ル
バ
ム

西尾市史ニユース 17

マチにたたずむ常夜燈

岩瀬文庫学芸員 鈴木とよ江

12月になり、木枯らしが吹き、西尾の「マチ」は冬のたたずまいを見せるようになってきました。冬になると、火を使うことが多くなり、火災の危険が高まってきます。

関東地方から東海地方までの地域で、火伏・火よけの神様といえば「秋葉山」です。これは浜松市天竜区春野町の秋葉山山頂にある秋葉大権現への信仰で、現在は秋葉山本宮秋葉神社が鎮座しています。この神社は古くから剣難、水難、火難に靈驗あらたかであるとして、有名な『東海道名所図会』にも記されています。ことに火よけについては京都にある愛宕神社と並び名高く、東海道沿いの多くの地域では、秋葉講（参詣するための講）を結成して秋葉山を参拝したといえます。

西尾市は秋葉神社との距離が比較的近いことから、現在でも秋葉信仰が盛んです。その信仰の様子は、町の辻や村の鎮守の一角に小さな祠や神社並みの立派な祠を建立し、お札を納めて地域の人々が日常参拝するなどさまざまですが、最も多いのは「常夜燈」です。市内には江戸時代以降、特に幕末から明治ごろにかけて建てられたものが多くみられます。石材加工が盛んな岡崎に近く、岡崎の石工によって作られた常夜燈があちこの道端や神社の片隅に建てられています。ここには「村中安全」や「除災安全」など、火防以外に日々の安寧を祈る文言が刻まれています。また、近年は電灯になった常夜燈が多いのですが、今も灯明番の制度を伝える地区が残ります。かつては講を結成して参拝していた秋葉神社へ、各家庭に配るためのお札をもらい受けるために代表者が参拝（代参）を続けている地区もあります。昔も今も、「火」は一瞬にして全てをなくしてしまいます。常に火への畏敬の念を込めて、秋葉信仰は今も人々の中に生き続けています。

西尾市史の調査の中では、今も残るこうした民間信仰の様相も丁寧に調べていきます。調査の際にはご協力ください。



西野町地区の道端に今もたたずむ常夜燈。天保11(1840)年に地元の若者たちによって建てられました。火袋の下に秋葉山の陽刻があります

岩瀬文庫 (☎56・2459)

月刊!! スポーツにしお

Vol.33

友好親善都市の赤穂市とスポーツで交流

年末になると、ちまたで話題となる「忠臣蔵」。西尾市は忠臣蔵ゆかりの地・兵庫県赤穂市と、スポーツで交流しています。義士親善友好都市交流会議（忠臣蔵サミット）への参加をきっかけとして、友好親善とスポーツ振興のために平成8年度から始まりました。赤穂市のサッカー少年団が吉良町を訪れることで始まった交流はその後、毎年交互に会場を交代しながら、剣道やブランドゴルフなどさまざまな種目で行われてきました。



17回目となる今年度は西尾市で開催。10月14日・15日の2日間、両市の小学生が陸上競技で汗を流しました。

た。あいにくの雨で会場を福地中学校体育館に急きよ変更。児童は20メートル走と約2キログラムのメディシンボール投げ、立ち3段とび、20メートルシャツトルランの4種の競技で記録会を行いました。



参加者一人一人が競技に真剣に取り組み、互いに健闘をたたえ合うなど、存分に交流を深めました。将来、全国大会で競い合う仲間になるといいですね。

来年の開催地は赤穂市。小学生がサッカー競技を行う予定です。

スポーツ課振興担当 (☎54・0002 / 総合体育館内)

西尾市のデータ

人口



	11月1日現在	前月比
男性	87,029人	+94人
女性	84,884人	+48人
計	171,913人	+142人
世帯数	63,311世帯	+116世帯

交通事故の状況



	人身事故 件数	死傷者	
		負傷者	死亡者
10月	44件	60人	0人
29年累計	581件	704人	2人

犯罪発生状況



	刑法犯総数	侵入盗	特殊詐欺
10月	61件	7件	0件
29年累計 (被害総額)	687件	109件	6件 2,115円

消防の状況



	火災	救助	救急
10月	3件	2件	487件
29年累計	67件	36件	5,491件

今月の表紙

毎年冬至の日に東幡豆町の妙善寺で開催される「かぼちゃサミット」。全国から特大のかぼちゃや珍しい形のかぼちゃが集まります。写真は「かぼちゃみこしのお練り」の前に撮影したもの。大きさが際立ちます。サミットでは、かぼちゃしるこの接待のほか、物産展も催され、多くの来場者でにぎわいます。

編集雑記

灯台下暗し。身近なもの程その良さや魅力に案外気付かないことがあります。市内には名所旧跡が点在しています。その中の一つ、華蔵寺は吉良上野介義央公の菩提寺。12月14日に毎歳忌法要が営まれ、おとしは第2回吉良サミットに出席した徳川家と上杉家の子孫が参列しました。今年は「義央公の子供、孫たちの運命」と題した特別講座が同日に開催されます(今号10ページ掲載)。地元の歴史ロマンに思いをはせてみませんか。(か)

スクールスマイルショット

School Smile Shot

●三和小学校

10月27日、24年続く稲作体験学習の一環で、5年生が稲の脱穀を行いました。千歯こき・足踏み脱穀機・ハーベスターを使いながら、脱穀の歴史を学び、秋晴れの下、心地良い汗を流していました。



●花ノ木小学校

10月26日にイングリッシュタイムが行われました。1時間目が始まる前の15分間、児童は先生による英語のテレビ放送を見ながら、クラスでゲームなどに挑戦。楽しく英語とふれあいました。



●幡豆中学校

11月11日、創立70周年記念文化祭が行われました。合唱コンクールでは、クラス全員で練習してきた成果を披露。いきいきとした表情で歌う生徒の姿に、会場から拍手が送られました。



【西尾市役所】

URL (パソコン) <http://www.city.nishio.aichi.jp/>
(携帯電話) <http://www.city.nishio.aichi.jp/mob/>

E-mail nishio@city.nishio.lg.jp

■本 庁 ☎0563・56・2111 (代表)
〒445-8501 西尾市寄住町下田22

■一色支所 ☎0563・72・7111 (代表)
〒444-0492 西尾市一色町一色東前新田8

■吉良支所 ☎0563・32・1111 (代表)
〒444-0596 西尾市吉良町荻原川畑20

■幡豆支所 ☎0563・62・5511 (代表)
〒444-0798 西尾市西幡豆町仲田14-2



バーコード対応の携帯電話などで読み取ると「モバイル@西尾市役所」が閲覧できます。